

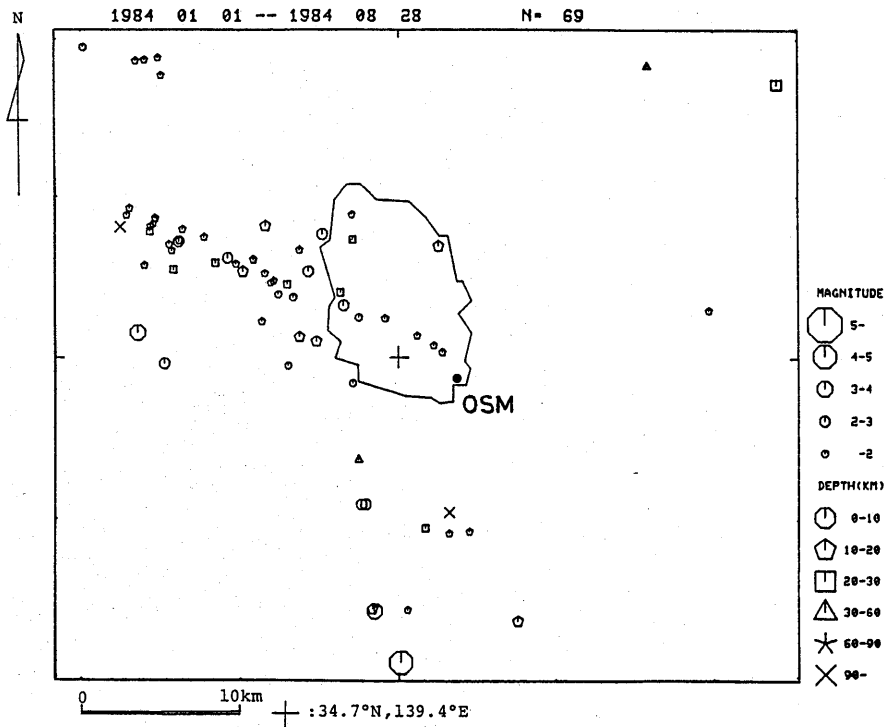
# 伊豆大島付近の最近の地震活動\*

(1984年1月～8月)

国立防災科学技術センター

国立防災科学技術センターの定常観測結果に基づき、伊豆大島付近の1984年1月～8月の震源分布を第1図に示す。この地域の震源決定は従来陸部の観測点を用いて行われていたが、1983年4月に大島(OSM)、新島(NJM)の両観測点が開設されて以来、地震検知能力、震源決定精度ともに著しく向上している。

伊豆大島とその周辺の地震活動は、1983年12月から翌月にかけて大島西岸付近に発生した小規模な群発地震<sup>1)</sup>以後、比較的静穏に推移している。図中に合計69個の地震が示されているが、その殆んどがM3未満の微小地震である。このうち島内の地震は、主として5月及び7月に発生した。また、大島西方の地



第1図 伊豆大島付近の震源分布(1984年1月～8月)

Fig.1 Hypocenter distribution in and near Izu-Ohsima Island for January-August of 1984.

\* Received Jan. 24, 1985

震は、4月及び8月に集中的に発生したものである。この期間について見る限り、島内と島外の地震は、時間的に重なることなく相補的に起きている。 (大竹政和)

### 参 考 文 献

- 1) 国立防災科学技術センター(1984): 1983年12月伊豆大島付近の群発地震について, 地震予知連絡会会報, **32**, 98-100.